

SPring-8/SACLA 利用研究成果集における クリエイティブ・コモンズライセンスの導入について

公益財団法人高輝度光科学研究センター
利用推進部

オープンアクセスのオンライン研究成果集である「SPring-8/SACLA 利用研究成果集」※ (<https://user.spring8.or.jp/resrep/>) は、2018年9月より、クリエイティブ・コモンズライセンス（以下、CCライセンス）を導入致しました。導入するCCライセンスは、クリエイティブ・コモンズ表示4.0国際（CC BY 4.0ライセンス）です。このライセンスを付与して公開される成果については、著作者が著作権を保持し、原作者のクレジット（氏名、タイトル、SPring-8/SACLA 利用研究成果集の Vol. No. ページなど）を表示することを主な条件として、誰にでも論文のダウンロード、コピー、改変、配布、営利目的も含むその二次利用を認めることとなります。上記コピー、改変、二次利用などを行う際に、著者や JASRI に改めて許可を得る必要はありません（CCライセンスについての詳細は、<https://creativecommons.jp/licenses/>を参照）。

なお、著作者がSPring-8/SACLA 利用研究成果集への成果の公開に際し、CC BY 4.0ライセンスの付与を希望しない場合は、現行通り JASRI への著作権の移譲を承諾いただいた上で、SPring-8/SACLA 利用研究成果集に投稿していただくこととなります。

このCC BY 4.0ライセンスの導入により、今後、SPring-8およびSACLAを利用した成果の一層幅広い普及と更なるその社会還元拡大に繋がることが期待されます。

※SPring-8 および SACLA における成果非専有利用研究課題では、実験責任者に利用期の終了後3年以内に、1) 査読付き科学・技術雑誌の論文、2) JASRI が刊行するSPring-8/SACLA 利用研究成果集、3) JASRI が認定した企業などで独自に査読編集される公開技術報告書のいずれかに得られた成果を公開することが義務付けられています。

SPring-8/SACLA 利用研究成果集は、SPring-8 および SACLA が国による多額の公的資金により建設・運営される特定先端大型研究施設であることに鑑み、得られた研究成果や知見を学術・科学技術の振興や産業利用なども含めた幅広い社会還元で最大限役立つことに向け、一般の査読付論文誌と同等の成果と位置付けたオープンアクセスのオンライン研究成果集として、2013年から刊行・公開しています。